

## 目標達成計画

作成日: 平成22年3月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜勤帯など、職員が手薄になっている時間想定した訓練がなされていない。 防火避難訓練は実施したが、地震等の災害訓練は実施したことが無い。	夜間伝達訓練 年1回 防火避難訓練 年2回 地震避難訓練 年1回	夜間緊急連絡網を実際に伝達してどのくらい人員が駆けつけられるか、どのくらいの時間で伝達終了か記録に残す。 避難場所、誘導方法、担送、護送対象者の把握、注意等全職員が身につける。	12ヶ月
2	10 19 20	ご家族との関係も含め、なじみの人や場と関係も大切にし、利用者さんを支えていきたい。本人の思い、希望とご家族の思いがお互い届かない。	馴染みの場所や人づくり。 ご家族との関係が希薄にならないように、ご家族との時間を作る。	今ある馴染みの場所に加え、新しい馴染みの場所を例えばいつも訪問頂く、保育園児の保育園に伺う。 家族会にてご家族の意見、相談に取り組む。 ご家族に少し時間があつたら、ホームに来ていただき、散歩や入居前の馴染みの場所に連れて行っていただく。	12ヶ月
3	48	張り合いや喜びのある日々を過ごさせているのか？ もう一度見直してみる。	個別ケアに力を入れていく。	加齢と共に段々出来ていたことが出来なくなってきた。 出来る力を活かした役割を作る。 思考、楽しみごと等の支援をする。	12ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。